

第六期長期計画討議要綱画への論点

民主生活者ネット

(1) 策定の前提について

1. 10年後の武蔵野市の姿が分かり難い。アウトカムを明確にすべきではないか。
2. 定量的な評価ができるようにすべきではないか
3. 検討をするだけでなく、選択肢として何があるのかを示すべきではないか。
4. 新規事業を検討するさいには、事業コストについても示すべきではないか。
5. やりたいことのウイッシュリストだけでなく、なくす、縮小、目的の再考、転用などの検討も明確にすべきではないか（芸能劇場、麦わら帽子、二俣尾・武蔵野市民の森事業）
6. 取組めていない重要案件を明確にすべきではないか（公会堂、中町駐輪場）
7. 公共施設等総合管理計画との整合性を明確にすべきではないか。
8. 20年を計画期間とする都市マスタープランとの整合性を明確にすべきではないか。
9. 施策、事務事業の検討をする背景についての説明が必要ではないか（〇〇計画、市民会議提案、議会決議、市長公約など）

(2) 市政を取り巻く環境について

1. 時代の流れを先読みすべきではないか。技術のスピードへの対応。
2. SDGsの視点も取り入れるべきではないか。国際条約とも連携する。

(3) 個別の課題について

1. p13 目指すべき姿について。誰もが安心して暮らし続けられる⇒誰もが安心して、自分らしく暮らし続けられる武蔵野市。
2. 基本目標について。多様性には、命の観点、動物も含めた共生社会とすべきではないか。
3. 子どもについて。子どもの声がうるさい、保育園反対とならないような市民意識の醸成が必要ではないか。まちなかに子どもの笑顔が広がるなどの表記でもいいかもしれない。未来への投資はモノに例えているように思えてしまう。社会全体の未来です、では？
4. p15 安全安心を高める環境整備について。首都直下型地震への記載と、「自助」「近助」を市民が考える重要性も書き込むべきではないか。まちの活力の向上・魅力の発信について。コンテンツ産業についての記載が増えたことは評価するが、び「第五期長期計画・調整計画」では記載がなかった項目が記載されている背景や近隣自治体と同じことをするのか、武蔵野市としての独自性を出すのかの手法についても

記載すべきではないか。

5. p17 参加・協働のさらなる推進について。コミセンとコミュニティは分けて考えるべきではないか。コミセンの機能についての再検証が必要ではないか。
6. p19 福祉人材の確保と育成・質の向上に向けた取り組みについて。 介護だけでなく、よりいっそうの若い世代を含めた支援を拡充すべきではないか。また、在住外国人は介護人材だけではなく広い分野で多くなり、市立学校へ外国人の子どもの入学を含めて多方面での支援を検討すべきではないか（福祉だけに限らず産業、教育にも）。ワークショップ報告にある「お互いにとって住みよい街」が参考になるのではないか。
7. p20 子ども教育について。 『子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設の必要性について検討を行う』とは何を示すのか。公共施設等総合管理計画との整合性は？
8. 子どもの医療費について。『子どもの医療費を所得制限なく 18 歳まで無償とする仕組みを構築する』。 政策目的となぜ構築すると決定しているのかの背景の説明が必要ではないか。
9. 児童館について。 『桜堤児童館については、現在の事業に加え、未就学児を対象とした事業を拡充する』。以前に戻っていないか。調整計画で指摘されことは検証しないのか。
10. 公立保育園について。 『公立保育園については、市内の保育の状況や外部有識者など幅広い意見を踏まえて、その役割とあり方の検討を進める』。 あり方とは何か具体的に記載すべきではないか。公立園を民営化するのか、子ども協会へ移管するのかなど選択肢を示すべきではないか。
11. p22 安全・安心かつ適切な教育環境の確保と学校改築の着実な推進について。 5小、5中など具体名を記載すべきではないか。また、建替え用地をどうするかなど、より具体的な課題を記載すべきではないか。
12. 多様性理解及び男女平等施策の推進について。 パートナーシップ証明書の交付はすでに検討が行われている。交付が目的ではなく、何のための交付なのかを記載すべきではないか。真の少子化対策につながる、リプロダクティブヘルス&ライツ~自己肯定感を高める性教育を進めるについても記載が必要ではないか。
13. p23 農業の振興と農地の保全について。 相続に伴う農地減少への対応については、市が購入することを含めての研究とすべきではないか。
14. 生涯学習施策の推進について。 『図書館サービスの向上を図る』は当然のことであり、市民の課題解決など何のために向上するのかを明記すべきではないか。
15. 『中央図書館については、今後もより良いサービス提供を継続していくため、最適な運営体制について検討』は指定管理者制度を検討すると明記すべきではないか。すべきではないと考えるが、目的も明記すべきではないか。

16. 市民会館について。 なんら記載がないため、記載すべきではないか。
17. p24 『アンテナショップ麦わら帽子については、改めて設立当初の理念に立ち返り〜』とは何を意味するのか。
18. p26 緑と水のネットワークの推進について。 『二俣尾・武蔵野市民の森事業を実施している。引き続き、森林が持つ水源涵養、地球温暖化防止等の多面的機能に着目しながら、保全・整備事業を継続して実施していく』とあるが、いつ、どのような手続きで決まったのか不明確ではないか。
19. p27 誰もが利用しやすい交通環境の整備について。 『ムーブスや自転車駐車場の事業展開や料金体系については、今後の市民サービスのあり方、受益者負担や公平性、事業効率性等の様々な視点から議論が必要である』。 何を言いたいのか分からない。消費税増税によりムーブスの利用料金を上げることについての議論と明記すべきではないか。
20. p28 安全で快適な道路ネットワークの構築について。 外郭環状線の2については、必要性を認めていないと明記すべきではないか。
21. 武蔵野公会堂について。 今後の10年で決めるべき事項との認識を示すべきではないか。
22. 武蔵境駅周辺エリアについて。 価値を向上・発展させるための取り組みについて議論とあるが、何のことか分からない。大型パチンコ店出店での影響も含めてまちの姿について議論とすべきではないか。
23. p29 自治基本条例（仮称）の検討と具体的な運用について。 『自治基本条例（仮称）は、平成31（2019）年度中の議会上程を目指し』とあるが、第六期長期計画期間中には制定見込みであることを記すべきではないか。
24. 議会について。 これまでの長期計画では触れられていないが、議会についての記載も必要ではないか。市民自治のひとつの集大成が議会であること、議会基本条例の検討が進められており、議会の役割、機能、執行機関との違いや市民の参加は執行機関だけではないこと、二元代表制など自治の姿として議会の項目を入れてはどうか。

以上